平成23年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年８月12日

上場会社名	札幌臨床検査センター株式会社		上場取引所　ＪＱ
コード番号	9776		ＵＲＬ　http://www.saturin.co.jp/
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）細川　武雄	
問合せ先責任者	（役職名）専務取締役	（氏名）大井　典雄	（ＴＥＬ）　011-613-3210
四半期報告書提出予定日	平成22年８月12日		配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成23年３月期第１四半期の連結業績（平成22年４月１日～平成22年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年３月期第１四半期	3,727	6.9	111	△21.5	124	△22.9	91	△9.3
22年３月期第１四半期	3,488	11.0	142	34.5	161	30.6	100	13.5

	１株当たり四半期純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年３月期第１四半期	22	30	－	
22年３月期第１四半期	24	23	－	

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
23年３月期第１四半期	7,763	4,188	54.0	1,052	63
22年３月期	7,535	4,216	56.0	1,017	09

（参考）自己資本　　23年３月期第１四半期　4,188百万円　22年３月期　4,216百万円

２．配当の状況

	年間配当金									
	第１四半期末		第２四半期末		第３四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年３月期	－		0	00	－		10	00	10	00
23年３月期	－									
23年３月期（予想）			0	00	－		10	00	10	00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

３．平成23年３月期の連結業績予想（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、第２四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第２四半期（累計）	7,472	6.7	203	△28.9	216	△31.0	117	△30.1	28	39
通期	14,632	1.7	498	12.1	518	7.2	271	6.8	65	52

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

４．その他（詳細は、［添付資料］Ｐ．４「その他の情報」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　：無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更：有

②　①以外の変更　　：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年３月期１Ｑ	4,216,000株	22年３月期	4,216,000株
②　期末自己株式数	23年３月期１Ｑ	236,452株	22年３月期	70,353株
③　期中平均株式数（四半期累計）	23年３月期１Ｑ	4,083,592株	22年３月期１Ｑ	4,145,647株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する説明

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．平成22年５月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．本資料に掲載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 4
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 4
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、海外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に着実に持ち直してきているものの、所得環境や雇用情勢の改善には至らず、また欧州を中心とした金融市場の変動の影響もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

また、当社グループが拠点を構える北海道経済におきましても、設備投資や個人消費の持ち直しの動きが見られたものの、雇用情勢の悪化が長期化を呈し、厳しい状況が続いております。

医療業界におきましては、診療報酬改定により、当社の主要な事業である調剤薬局事業に関わる薬価は、△5.7％の改定となりました。また、医師不足による医療機関の規模縮小や無床化が進み、依然として厳しい経営環境におかれました。

このような状況の中、当社グループは、新規取引先の獲得や収益性を意識した営業活動を展開し、また効率重視の生産体制の構築及び諸経費の節減や一般用医薬品の販売強化などに取り組んでまいりました。この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高3,727百万円（前年同期比6.9％増）、営業利益111百万円（同21.5％減）、経常利益124百万円（同22.9％減）、四半期純利益91百万円（同9.3％減）と増収減益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年３月21日）を適用しておりますが、セグメント区分の変更がないため、前年同期における事業の種類別セグメント情報との比較数値を記載しております。

①臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、診療報酬の改定がありましたが、新規顧客の獲得などにより売上は順調に増加いたしました。一方では、新規取引先の増加に伴なって新たな設備投資や検査技師の増員など経費が先行し、売上高1,230百万円(同6.3％増)、営業利益75百万円（同5.1％減）と増収減益になりました。

②調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、薬価改定の影響がありましたが、売上高は2,182百万円（同0.9％増）と前年同期比微増で推移することができました。一方、営業利益につきましては、薬価改定の引き下げに伴い、売上原価率の上昇により136百万円（同22.8％減）と前年同期を大きく下回りました。

③医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、医療機器の販売が好調であったことにより売上高302百万円（同90.7％増）、営業利益8百万円（前年同期は営業損失8百万円）と増収増益になりました。

④その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守、並びにアクテック株式会社が所有する不動産の賃貸収入により、売上高13百万円（同26.0％増）、営業利益5百万円（同75.9％増）になりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産の状況）

① 当第１四半期連結会計期間末の総資産は、7,763百万円（前連結会計年度末7,535百万円）となり、前連結会計年度末に比べ227百万円増加いたしました。

流動資産は、4,796百万円（同4,606百万円）となり、前連結会計年度末に比べ189百万円増加いたしました。これは、売上高の増加などに伴い、受取手形及び売掛金（前連結会計年度末比90百万円増）並びに商品（同183百万円増）などが増加したことによるものです。

固定資産は、2,966百万円（前連結会計年度末2,929百万円）となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加いたしました。これは、検査機器などの工具、器具及び備品（前連結会計年度末比56百万円増）が増加したことによるものです。

② 当第１四半期連結会計期間末の負債は、3,574百万円（前連結会計年度末3,319百万円）となり、前連結会計年度末に比べ255百万円増加いたしました。

流動負債は、3,147百万円（同2,879百万円）となり、前連結会計年度末に比べ268百万円増加いたしました。これは、短期借入金（前連結会計年度末比170百万円減）及び未払法人税等（同63百万円減）の減少がありましたが、一方では、支払手形及び買掛金（同468百万円増）の増加があったことによるものです。

固定負債は、426百万円（前連結会計年度440百万円）となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少いたしました。これは、長期借入金（前連結会計年度末比17百万円減）の返済が進んだことによるものです。

③ 当第１四半期連結会計期間末の純資産は、4,188百万円（前連結会計年度末4,216百万円）となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少いたしました。これは、四半期純利益91百万円がありましたが、一方では、剰余金の配当41百万円及び自己株式の取得71百万円によるものです。

自己資本比率につきましては、総資産の増加及び純資産の減少があったため、前連結会計年度末比2.0ポイント減少し54.0％になりました。

また、１株当たり純資産につきましては、前述した自己株式が増加したため、連結会計年度末比35円54銭増加し1,052円63銭になりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,472百万円（前年同期比8.2％増）になりました。

各連結キャッシュ・フローの状況と増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって得られた資金は、前年同期に比べ13百万円増加し、255百万円（同5.4％増）になりました。

主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益162百万円（同18百万円減）、仕入債務の増加額447百万円（同166百万円増）であり、主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額185百万円（同48百万円増）、法人税等の支払額127百万円（同29百万円増）であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動で使用した資金は、前年同期に比べ52百万円増加し、119百万円（同78.5％増）になりました。

主な要因は、臨床検査事業を主とする有形固定資産の取得による支出119百万円（同20百万円増）によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動で使用した資金は、自己株式の取得による支出71百万円と長期借入金の返済39百万円（同48百万円減）により、前年同期に比べ100百万円増加し127百万円（同380.4％増）になりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年３月期の連結業績予想は、平成22年５月14日に公表した数値を変更しておりません。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

②四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

なお、これによる影響額はありません。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,627,042	1,756,819
受取手形及び売掛金	2,379,557	2,288,900
商品及び製品	623,956	440,667
仕掛品	12,713	12,042
原材料及び貯蔵品	21,439	19,902
繰延税金資産	84,102	84,102
その他	94,113	88,675
貸倒引当金	△46,355	△84,430
流動資産合計	4,796,570	4,606,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,706,399	1,699,324
減価償却累計額	△1,043,571	△1,030,644
建物及び構築物（純額）	662,828	668,679
機械装置及び運搬具	84,012	84,201
減価償却累計額	△74,370	△78,104
機械装置及び運搬具（純額）	9,641	6,097
工具、器具及び備品	1,788,881	1,699,332
減価償却累計額	△1,335,174	△1,301,637
工具、器具及び備品（純額）	453,706	397,694
土地	872,732	872,732
リース資産	28,576	28,576
減価償却累計額	△8,908	△7,292
リース資産（純額）	19,668	21,284
有形固定資産合計	2,018,577	1,966,488
無形固定資産		
その他	160,597	168,041
無形固定資産合計	160,597	168,041
投資その他の資産		
投資有価証券	124,499	134,187
長期貸付金	68,689	70,136
長期前払費用	22,595	24,382
差入保証金	336,879	341,735
繰延税金資産	206,061	202,179
その他	234,133	235,929
貸倒引当金	△205,056	△213,799
投資その他の資産合計	787,803	794,751
固定資産合計	2,966,978	2,929,280
資産合計	7,763,549	7,535,960

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,361,986	1,893,955
短期借入金	325,241	496,155
リース債務	8,289	8,218
未払法人税等	80,723	144,590
未払金	100,982	90,381
賞与引当金	36,988	75,238
その他	233,540	170,913
流動負債合計	3,147,751	2,879,452
固定負債		
長期借入金	79,770	97,079
リース債務	18,599	20,698
役員退職慰労引当金	47,890	45,232
退職給付引当金	274,544	270,914
繰延税金負債	265	377
その他	5,731	5,699
固定負債合計	426,800	440,001
負債合計	3,574,552	3,319,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	2,289,351	2,239,743
自己株式	△98,502	△27,246
株主資本合計	4,189,468	4,211,116
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△471	5,389
評価・換算差額等合計	△471	5,389
純資産合計	4,188,996	4,216,506
負債純資産合計	7,763,549	7,535,960

（２）四半期連結損益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
売上高	3,488,361	3,727,862
売上原価	2,413,878	2,683,072
売上総利益	1,074,482	1,044,790
販売費及び一般管理費	932,420	933,248
営業利益	142,062	111,541
営業外収益		
受取利息	854	727
受取配当金	1,059	1,324
受取賃貸料	12,612	12,991
負ののれん償却額	3,834	－
その他	8,695	7,435
営業外収益合計	27,057	22,478
営業外費用		
支払利息	1,275	2,208
賃貸収入原価	5,121	7,039
その他	1,017	50
営業外費用合計	7,414	9,298
経常利益	161,705	124,721
特別利益		
貸倒引当金戻入額	19,594	40,452
固定資産売却益	－	104
特別利益合計	19,594	40,556
特別損失		
固定資産売却損	11	222
固定資産除却損	214	850
会員権評価損	－	1,400
特別損失合計	225	2,472
税金等調整前四半期純利益	181,073	162,804
法人税等	80,635	71,740
少数株主損益調整前四半期純利益	－	91,064
四半期純利益	100,437	91,064

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	181,073	162,804
減価償却費	65,293	80,633
負ののれん償却額	△3,834	－
ゴルフ会員権売却損益（△は益）	85	－
投資その他の資産評価損	－	1,400
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,126	3,630
賞与引当金の増減額（△は減少）	△23,637	△38,249
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△19,665	△40,474
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	2,141	2,657
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△7,500	－
受取利息及び受取配当金	△1,913	△2,051
支払利息	1,275	2,208
有形固定資産売却損益（△は益）	11	118
有形固定資産除却損	214	850
預り保証金の増減額（△は減少）	△600	32
売上債権の増減額（△は増加）	△35,397	△90,662
たな卸資産の増減額（△は増加）	△137,096	△185,497
仕入債務の増減額（△は減少）	281,212	447,340
未収消費税等の増減額（△は増加）	2,682	17,001
その他の資産・負債の増減額	32,695	21,061
小計	340,167	382,802
利息及び配当金の受取額	1,441	1,639
利息の支払額	△1,449	△1,964
法人税等の支払額	△97,743	△127,030
営業活動によるキャッシュ・フロー	242,414	255,447
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△600	－
有形固定資産の取得による支出	△99,383	△119,674
有形固定資産の売却による収入	35	485
無形固定資産の取得による支出	△35,109	△3,470
投資有価証券の取得による支出	△148	△148
短期貸付金の増減額（△は増加）	△7,000	－
長期貸付金の回収による収入	3,497	1,446
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	69,082	－
その他	2,806	2,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,820	△119,273
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	67,100	△10,000
長期借入金の返済による支出	△88,046	△39,483
リース債務の返済による支出	△710	△1,637
自己株式の取得による支出	－	△71,256
配当金の支払額	△4,824	△4,839
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,481	△127,216
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	149,113	8,957
現金及び現金同等物の期首残高	1,211,464	1,463,718
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,360,577	1,472,676

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕
前第１四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

	臨床検査事業（千円）	調剤薬局事業（千円）	医療機器販売・保守事業（千円）	その他の事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高及び営業利益							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,157,189	2,162,064	158,482	10,625	3,488,361	－	3,488,361
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	105,452	3,188	108,640	(108,640)	－
計	1,157,189	2,162,064	263,934	13,814	3,597,002	(108,640)	3,488,361
営業利益又は営業損失（△）	79,927	176,295	△8,574	2,874	250,523	(108,461)	142,062

（注）１．事業区分の方法
事業区分の方法は、内部管理上採用している区分によっております。
２．各区分に属する主な内容は、次のとおりであります。
(1) 臨床検査事業・・・・・・・・診療に必要な臨床検査の受託業務
(2) 調剤薬局事業・・・・・・・・調剤薬局の経営
(3) 医療機器販売・保守事業・・・医療機器の販売、修理及び保守
(4) その他の事業・・・・・・・・臨床検査システム等のソフトウェアの販売及び不動産の賃貸
３．追加情報
当第１四半期連結会計期間より医療機器販売・保守事業を営むアクテック㈱を新たに連結の範囲に含めたことに伴い、新たに医療機器販売・保守事業をセグメント区分に追加いたしました。また、アクテック株式会社が所有する不動産の賃貸収入をその他の事業に加えたことにより、その他の事業の売上高が5,068千円、営業利益が3,835千円それぞれ増加しております。

〔所在地別セグメント情報〕
前第１四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）
本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕
前第１四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）
海外売上高がないため、該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主として病院等の診療に必要な臨床検査の受託業務を行う「臨床検査事業」と、調剤薬局店舗を経営する「調剤薬局事業」及び高度医療機器から一般医療機器、理化学機器等の販売並びに保守を行う「医療機器販売・保守事業」の３事業を報告セグメントとしております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第１四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年６月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,230,174	2,182,112	302,184	3,714,471	13,391	3,727,862
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	185,803	185,803	3,203	189,007
計	1,230,174	2,182,112	487,987	3,900,275	16,594	3,916,870
セグメント利益	75,839	136,162	8,192	220,194	5,055	225,249

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守、並びにアクテック株式会社が所有する不動産の賃貸収入を含んでおります。

３．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	220,194
「その他」の区分の利益	5,055
セグメント間取引消去	△5,253
全社費用（注）	△108,455
四半期連結損益計算書の営業利益	111,541

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

当第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。